

## 1819 プラド美術館開館

1838-48 :ルイ=フィリップのスペイン画廊開設

1848 スターリング・マックスウェル『スペイン芸術家年報』刊

### 1 章黄金世紀への照射:ドン・キホーテとベラスケス

#### i) ドン・キホーテ

ギュスターヴ・ドレ《風車の冒険》1863年アシェット版より、国立西洋美術館

ウォルター・クレイン《風車の冒険》1900年、ジャッジ・パリー翻案版より明治学院大学図書館 (i)ベラスケス

ゴヤ《イソップ(ベラスケスに基づく)》1778年、国立西洋美術館

マネ《フェリベ4世(ベラスケスに基づく)》1862年、国立西洋美術館

### 2 章スペインの「発見」

#### i) 旅行者の見たスペイン

ン

オーウェン・ジョーンズ『アルハンブラの平面、立面、断面、細部図集』より「二姉妹の間」

1842-45年、東京藝術大学附属図書館

#### (i) 人物タイプ

ドランシー《たばこ「ジタン」》1931年、たばこと塩の博

物館ホアキン・ソローリャ《水飲み壺》1904年、国立西洋美術館 iii) ゴヤの影響: ドラクロワ、マネ

ウジェーヌ・ドラクロワ《ゴヤくロス・カプリーチョス》に基づく習作》横浜美術館

ゴヤ《ロス・カプリーチョス 16番神よお許してください、それが母親だったとは》1799年国立西洋美術館

### 3 章闘牛、生と死の祭典

ゴヤ《闘牛技 20番マドリードの闘牛場でファニート・アビニャーニが見せた敏捷さと大胆さ》1816年、国立西洋美術館

パブロ・ピカソ《闘牛技 9番突き棒での跳躍》1959年、高崎市美術館

### 4 章 19世紀カタルーニヤにおける革新 i)

#### マリアーノ・フォルトウーニ

マリアーノ・フォルトウーニ《植物愛好家》1869年、国立西洋美術館マリ

アーノ・フォルトウーニ《隠遁者》1869年、国立西洋美術館

#### (i) バルセロナからパリへ: 世紀末の光と影

アドリア・グアル《オルフェオ・カタラ合唱団のためのポスター》1904年、国立西洋美術館ラモン

ン・カザス《アニス・デル・モノのポスター》1898年、国立西洋美術館

### 5 章ゴヤを超えて: 20世紀スペイン美術の水脈を探る

#### i) エスノバーニヤ・ネグラ

スペインのイメージ: 版画を通じて写し伝わるすがた

Imaged and Imagined: Spain Seen through Prints from Japanese Collections

LA IMAGEN E LO IMAGINADO: España Vista en estampas de colecciones Japonesas

展覧会のテーマ: 版画を通じて写し伝わる「スペインの」すがた

版画=視覚イメージの伝達に最も効果的な手段。複数刷られる、安価、軽い

「ヒ。レネーの向こうはアフリカ」と言われたスペイン  
ナポレオン侵略、スペイン独立戦争(1808-14)を経て変化

1. 19世紀イギリス、フランスでスペイン(文化、美術、風俗)がどのように受け入れられ、理解されていったのか
2. 20世紀のスペインで、スペインの過去の歴史文化、遺産がどのように受け入れられ、理解されていったのか
3. 戦後の日本でスペインの版画がどのように受容されていったのか

出品作(長崎約210点、東京約240点)

- 国立西洋美術館と長崎県美術館の所蔵作品を核に西洋美術館からの出品のうち約40点は新収、初公開
- 国内35か所以上から借用国内に所蔵されるスペイン版画コレクションの豊かさを示す

スペインの「発見」の背景

- 地理的な遠さ
- 政治・宗教的な敵対関係(>「黒い伝説」) ● グランド・ツアーからの疎外

転換・ナポレオンの侵略とスペイン独立戦争(1806-14)

>ヒトとモノの往来の活発化

ロマン主義の流行>異質なもの、未知なものに対する関心の増大

>>ヨーロッパ人にとって最も身近な「異国」としてのスペインの受容

・旅行者の往来、著作、制作

アーヴィング、メリメ、スタンダール、ゴーティエ、

ロバーツ、ドラクロワ、ドレ、マネ、サージェント

・スペイン美術の普及

ユコ・一

作者不詳《メメント・モリ》17世紀、国立西洋美術館

ホセ・グティエレス・ソラーナ《ラ・ベアタ》1933年、国立西洋美術館

館 (i) 叫びと抵抗: 20世紀スペインにおける政治と美術

ゴヤ《戦争の惨禍7番なんと勇敢な!》1810-15年頃、国立西洋美術館

2023年7月12日 日西経済友好会  
川瀬佑介

国立西洋美術館主任研究員

サルバドール・アリーバス《7月18日、1936/1937年》1937年、大阪中之島美術館

6章日本人の見たスペイン美術

戦前から国内に所在が確認されるスペイン版画作品

小島烏水旧蔵のゴヤ7点、ピカソ4点など(現・横浜美術館蔵)

戦後50年代でのパリの同時代画壇の紹介

ヒ。カソやそのほか亡命スペイン人画家を含む:

ントニ・クラベ、ノバノレタサーノレ・ロボ、フランシスコ・ポレス・・・

デパートや新聞社主催の展覧会(1951年2つのヒ。カソ展など) プリヂストン美術館、神奈川県立近代美術館などでの展覧会

東京国際版画ビエンナーレ

1957-79年まで11回開催

クラベ第1回(1957)プリヂストン美術館

賞タヒ。エス第2回(1960)外務大臣賞ホ

アン・ヒラルト第6回(1968)佳作賞チリ

ーダ第10回(1976)外務大臣賞

エキボ・クロニカ第11回(1979)プリヂストン美術館賞ヒ。

カソ、ミロらも出品

アンフォルメル旋風

世界・今日の美術展(1956)、バノエノレ・タヒ。エ来日(1957)